

# 各事業所からのお知らせ

## ■ 指定居宅介護支援事業所いづみ



新年度となり士気高揚する時期ですが、今年は新型コロナウイルスの影響で日々の生活への制限が大きくなっており、このような事態にケアマネとしてどのように対応していくか頭を悩ませています。利用者さまが日常生活に困った事が生じていないか頻回に連絡を取り、お困りの声が聞かれたら少しでも不安が取り除かれる様、解決に向けた道筋をご提案する事はとても大切です。現在のように極力外出を避けるなど活動自粛制限があり、暗いニュースが多いと自然にストレスも溜まってきます。そんな時に不満や不安を声に出すだけでも気分が晴れることがあると思います。

これまでも大規模地震や台風、時にはご自宅の予期せぬ火災等で緊急的な対応が必要な事がありました。その時、感じるのはご家族の対応、施設との信頼関係や地域の方々の方々の協力の有難さです。今年度も明るい話題ばかりではないと思いますが、緊急事態に備えた心構えと知恵や経験を分け合って協力し、その時々でその方に必要な支援が何かを考えてケアマネとしての責務を果たしていきたいと思っております。



「介護」でわからない事等ありましたらお気軽にご相談ください。

## ■ 訪問看護ステーション 森林



## ■ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 森林



新型コロナウイルスの流行で、様々な情報が溢れ訪問先の利用者さまからも不安の声が聞かれます。

利用者さまが安心して日々を過ごす事ができるよう訪問看護・訪問リハビリにて支援をしております。

◆ここで感染予防対策のポイントを確認しましょう。

- ① 外出時や食事前後のうがい・手洗いの徹底
- ② 睡眠や食事のバランスに気をつけて体調を整える
- ③ 密閉・密集・密接する場所を避ける
- ④ 咳エチケットの実践

一人ひとりの意識と対策がとても大切です。

要介護のご高齢者に対して、在宅での生活を支援するサービスです。独居の方の利用も少なくはなく、すぐに駆け付けられない地域でお住いのご家族からの相談、依頼が多くなっています。利用者さまが住み慣れた住まいで長く、励みを持って生活できるように精一杯ケアに当たらせていただきます。今後は取り組みの様子など広報誌をはじめ、ホームページの「スタッフブログ」のコーナーでお伝えしたいと考えております。ぜひ一度下記URLにてご覧ください。

<https://www.kokoro.or.jp/namefuku/>

## ■ 就労支援B型作業所 シンフォニー



シンフォニーを利用されている方のほとんどが、早く就職したいという希望を抱いています。モチベーションを高めるためにも施設外就労に力を入れており、時には、個別に面接の練習をするなど、職員も知恵を出し合いながら日々励ましのエールを送っています。

利用者さまが頑張った結果、前年度は無事に3名の方が一般就労されました。更に、現在も全員が同じ職場で頑張っています。そのような結果を見てきた他の利用者さまも、次は、自分とばかりに積極的に努力されています。「就職が決まった」という結果は大事ですが、今年度もそれぞれのペースで自分らしさを忘れず前進していただきたいと思っております。私たち職員は「サポーター」です。背中をそっと押ささせていただき支えてまいります。

## ■ 一般・特定相談支援事業所



障害福祉サービスをご利用、ご希望される方に対して相談支援専門員がサービスの立案、計画を作成しています。最近では新型コロナウイルスの影響により公立の学校が臨時休校するという影響もあってか、障がいを持たれているお子さまの対応が多くなってきました。子供たちが安心して暮らせるように一日も早い収束を願っています。

## 編集後記

この春を彩ってくれるもの。黄色いタンポポや満開の桜、爽やかな新緑、小鳥の囀りなど沢山ありますが、今年に限っては「白い口元」もそれらに加わりそうです。「探しても探しても見つからない白くて四角いものなあった」。今年限定のなぞなぞができそうですね。

さて、新年度のスタートです。 編集後記 平岡

# なめがわ地域 福祉支援 センターだより

なめがわ地域 福祉支援センター



〒355-0811

埼玉県比企郡滑川町大字羽尾 1041-7

TEL0493-81-5101/FAX0493-81-5102

なめがわ地域 福祉支援センターHP <https://www.kokoro.or.jp/namefuku/>

## 新年度を迎え

なめがわ地域 福祉支援センター

事務長 大下 弘樹



なめがわ地域 福祉支援センターの大下と申します。日頃より、行政関係を始めとして地域の皆様、関係各事業所の皆様には、当センターの運営にあたり、ご理解、ご支援を賜り感謝申し上げます。

新年度を迎えるにあたり、本年の活動と目標を述べさせていただきます。

当センターは、医療、介護、障害福祉分野の訪問・在宅系を中心に7事業所の運営を行っておりますが、本年は新たに「半日型リハビリデイサービス」の開設と「おとなの学校」という地域のご高齢者に向けたレクリエーションプログラムを実践する予定です。

さて、「人生100年時代」と言われている中、「健康寿命」を延ばすことへの関心が年々高まっています。ここ滑川町においても健康長寿というキーワードが盛んに使われており、元気に年齢を重ねることが重要となります。そこで、当センターでその一翼を担えないかと検討した結果、「半日型リハビリデイサービス」の開設と「おとなの学校」を実践しようという運びとなりました。

現在、日本各地では高齢者の「フレイル状態」を予防しようと盛んに叫ばれており介護予防体操など多くの取り組みも実施されています。フレイルとは加齢に伴い心身状態が低下し、介護が必要となる前段階の事ですが、日頃の継続的な運動や食事の内容を工夫する事で予防できる事も少なくありません。体力の低下を予防し自宅でいつまでも元気で生活を送ってくださることは私たちの願いでもあります。故に開設をした際にはリハビリ特化の「半日型デイサービス」を地域で住まれる皆様にご利用いただき、要介護状態の軽減、健康保持・増進に寄与したく思います。

一方「おとなの学校」は、学校をモチーフとした授業形式のレクリエーションの一環です。昔を思い出しながら、「声を出す」という事は脳血流量の増加に繋がり脳機能の活性化が期待できます。毎月内容が変わる教科書で、国語、算数、理科、社会、家庭科、音楽、体育とバリエーション豊かな内容で行いますが、難しいことを学習するものではありません。「笑顔で楽しく学ぼう」をモットーに雰囲気づくりや進め方を工夫していきたいと思っております。しかし現在、世界を震え上がらせている新型コロナウイルスの蔓延により、当初の開始予定より遅延しております。開催時期については共催していただいている滑川町と協議しながら慎重に判断してまいります。

今後も「医療・介護・障害福祉分野における地域の窓口」としての役割を果たすため、今後も法人をあげて切れ目のないサービスを展開してまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。